

## 令和7年度取組状況

ものづくり工学科 医療福祉工学コース准教授 吉田嵩

取組状況	
教育	<p>(1) カリキュラム改訂に基づく授業内容の検討 信号処理が新設科目となるので、学生の理解度に寄り添いながら適宜調整し、着実に実施した。学生評価アンケートで全項目3.5以上の評価を得た。</p> <p>(2) 実験、講義、アクティブラーニングを組み合わせた新しい授業方法の検討 電気磁気学IIにおいてアクティブラーニング型の授業を発展させた。独自に実施したアンケート結果より、60%が現状維持、26%が説明(講義)増、14%が演習増を希望していた。学生個人の志向もあるため、バランスが取れた授業運営ができたと考えられる。また、アンケートでは「進め方を他の授業でも採用して欲しい」といった声も寄せられた。</p>
研究	<p>(1) 専攻科生の研究成果を電気学会 システム / 制御合同研究会で発表した(共著。筆頭著者は学生)</p> <p>(2) 本校の取り組みである未来工学教育プログラムについて紹介する発表を行った(共著。筆頭著者は笠原先生)</p> <p>(3) 未来工学教育プログラムの最終科目であるPBLプロジェクトの成果について発表を行った(共著。筆頭著者は学生)。</p>
社会貢献	<p>(1) 出前・受け入れ授業として中学生でも知っている平均を用いた画像処理に関する授業を実施した。</p> <p>(2) IEEE Tokyo YPとで小学生向けプログラミング教室を実施した。継続して実施して、将来の日本を担う子供たちに工学の楽しさを伝えていきたい。</p> <p>(4) IEEE HTC2025実行委員として、国際会議の運営に尽力した。</p> <p>(5) IEEE・電子情報通信学会・電気学会で専門委員を務めた。本学学生にも国際交流やキャリア形成イベントなどに参加する機会を提供できた。</p>